



要望の声が上がりました。しかし、除雪の対応には限界があり、また、幹線道路を優先して除雪に当たったため、小さい道路、生活道路などはどう

除雪した雪の行く先が問題となりました。でも後に回さざるを得ない結果となりました。優先順位を付け、除雪の進捗を随時広報することが必要でしょう。また、除雪をする際には、雪の行方も問題になります。雪捨て場が確保されておらず、車道の雪を道端に寄せてしまうことで、近隣の方から苦情が寄せられるという事態も発生しました。予め雪捨て場を確保しておくことが求められます。

### ■新潟県からの応援

埼玉県と新潟県との協定に基づき、2月19日から新潟県の応援車両が入りました。これを運用するのは、新潟県から機材の運用を委託されている業者のみなさんでした。新潟県の担当者の方も、連絡要員として現地に入ったそうです。ロータリー車は、雪深いところで雪を掻いてさらに飛ばすという作業ができる車両です。一台3000～4000万円します。あくまで地元の人手や重機で手が回らないところに協力するという前提で、雪崩などで寸断された山道などを中心に作業を行ってもらいました。地元業者の方が、まず重機で除雪車が入れるスペースを確保し、その後を追いかける形での作業でした。また途中、倒れ

た電柱などの障害があり、スイスイと作業が進むわけではありませんでした。能力の高い機材と作業に習熟した作業員の方のおかげで、除雪の難所を乗り越えることができました。



新潟県からの応援車両

### ■動かないことも大切



雪崩による雪野壁を切り崩していく重機

今回の除雪作業で問題になったのが、立ち往生した車です。今回は積雪量が多かったため、スタッドレスタイヤを履いていても車の底が雪にかかってしまい、走行不能になるということも起こりました。震災においての対応のように、大雪が見込まれる際には、指定道路については通行止めとし、一般車両が通行できない措置をとるなどの対応が必要かと思われま

す。日常的に想定できない降雪に対する、設備や人手を確保するという事は費用対効果の面から言って、現実的ではありません。(新潟県では毎年100億円の除雪費用をかけているそうです。)休業、休校措置を取り、各種行事なども縮小、中止などの対応を呼びかけることにより、円滑な除雪、復旧作業を優先させるということも必要でしょう。

## 埼玉12区内各市の大雪災害対策

熊谷市、行田市、羽生市、加須市の状況をまとめてみました。熊谷では62cmの積雪がありましたが、行田では39cmなど、北部での積雪に比べると東部では積雪が少なかったようです。各市では腐材の受け入れを行いました。それ以外の支援については下記の通りです。

#### 熊谷市

- 農業用施設の復旧支援…ハウスの畜舎などの復旧や修繕に対する費用の9割を補助する。(国5割、県2割、市2割)また、撤去に対しても、ガラス、鉄骨、パイプなど、施設の内容に応じて基準額による補助を行う。
- ビニールトンネル復旧支援…復旧費用の5割を補助。(上限100万円、市単独事業)
- 農業災害復旧資金の利子補助…JAくまがやからの融資500万円までの融資に対し、市とJAくまがやで利子を補助。JA以外の融資に対しても、県と市で利子を補助する制度もあり。

#### 行田市

- 農業用施設の復旧支援…ハウスの損壊について一律10万円支給。

#### 羽生市

- 特になし。

#### 加須市

- 農業者に対する見舞金…作物やビニールハウスなど農業用施設の被害に応じて1～10万円を支給。
- 住宅修繕等への助成…20万円以上の修繕を行った場合5%(5万円限度)の助成を行う。

## INFORMATION

### ■明るい日本を創る座談会

行田市栄町地区  
4月20日(日)午後4:00～にて  
行田市栄町22

→詳細は事務所までご一報ください。

### ■街頭演説

4月20日(日)  
11:00～八木橋東口前  
11:20～熊谷駅北口  
11:45～埼玉りそな銀行行田支店前  
12:20～羽生市中央三丁目交差点  
12:50～加須市役所入口交差点  
→日時は都合により変更する場合があります。